

羽幌町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

第1 取組方針

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地区は、留萌管内の中部に位置し、水田作・酪農を中心とした地域であり、水田 1,850ha 内、水稲作付面積 1,100ha 転作田作付面積 790ha となっている。

また、農家の高齢化率が上昇し、農家戸数の減少が見られるので、担い手への集積を推進し、転作作物に占める小麦・大豆・飼料作物の面積が多く、土地利用型作物の生産性向上等をより一層進めていく必要がある。

しかしながら、麦・大豆については、融雪による湿害の排水対策や連作障害等による、年次ごとにおける単収変動が顕著となっている。

2 作物ごとの取組方針

町内の約 1,850ha の水田について、生産性向上に向け、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。地域の生産数量目標など集荷業者等の需要意向に沿った生産と安定した高品質米の推進を図るとともに羽幌町水稻部会、羽幌ライスターミナル運営委員会、オロロン青年部と協力し合い、独自の白米販売促進していくこととする。

(2) 非主食用米

ア 加工用米・備蓄米

主食用の需要減が見込まれる中、産地交付金を活用しつつ、水張り面積の維持・拡大を推進する。また、冷凍加工業者・菓子加工業者より使用品種による作付維持拡大の供給求められていることから水田転作の重点として位置づけ、生産の拡大を図っていくこととする。

イ 飼料用米

水田面積の維持・確保に向けて、需要動向や畜産農家等の飼料米の意向調査を行い、水張りの転作と推奨し作付を行い共同計算・共同乾燥施設の 100% 利用に取組み、コスト低減を目指し作付すること

ウ 輸出用米

現在、シンガポール・香港へは、平成 25 年度は、年間 30t、平成 26 年は、年間 60t 輸出している状況であり、目標年に向け 100t の輸出を目指す。

(3) 麦、大豆

麦・大豆においては、地域における高齢化が進行する中、耕作放棄地等の発生、増加を防止するため、担い手への農地集積や団地化を進めることとし、今後においても作付面積を維持・拡大を推進する。

また、小麦・大豆とも実需からのニーズのある品種生産への転換を推進する。

(4) そば、なたね

現状の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

(5) 野菜、花卉、豆類

「アスパラ」「馬鈴薯」「ミニトマト」「長芋」「ズッキーニ」「南瓜」「ホーレン草」「とうきび」「花卉」「小豆」「大納言」を振興品目として維持する。

(6) 飼料作物

産地交付金を活用しつつ、良質粗飼料生産を維持し地域の畜産農家と連携して、現行の作付面積を維持する。

(7) 不作付地の解消

地域の高齢化により耕作放棄地等が予想されるが、各関係機関と協議し不作付地にしないよう農地中間管理機構との連携により担い手への集約を推進し地域内の維持を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 27 年度の作付予定面積 (ha)	平成 29 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	1,021	957	920
飼料用米		40	50
輸出用米	6	12	20
WCS 用稲			
加工用米	26	24	26
備蓄米	53	47	47
麦	174	213	213
大豆	121	118	126
飼料作物	266	253	263
そば	99	82	90
なたね			
その他地域振興作物	84	88	90
野菜	36	32	30
小豆・菜豆	14	6	10
地力増進作物	34	50	50

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 27 年度 (予定)	平成 29 年度 (目標値)
1	麦	担い手への農地 集積	イ	実地面積	174ha	213ha	213ha
1	大豆	担い手への農地 集積	イ	実地面積	121ha	118ha	126ha
2	加工用米	作付拡大	ア	実地面積	26ha	24ha	26ha
2	飼料用米	作付拡大	ア	実施面積	0ha	40ha	50ha

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2(5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入して下さい。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組